

地域経済活性化・環境に優しいまちづくりに逆行する駐輪場有料化

……… 市民の声に耳を貸さず、市営駐輪場有料化の条例・予算を9月議会に提案 ……

現在ある駐輪場の撤去に674万円

9月議会に提案された「有料化」のための準備予算の内容は、

歩道の駐輪ラック撤去 440万円
 既存の駐輪場閉鎖経費 234万円
 ほか 合計 700万円

*補正予算は、今年度分の準備経費です。

有料化は

経費削減にはなりません！

これまでかかっていた駐輪場の管理・運営費は、年間約1億2000万円です。

次年度以降の費用は、

有料化の機器借上料 3000万円
 指定管理料 6000万円
 民間駐輪場整備補助 5000万円
 合計 年間 1億4000万円

有料化のための機器の借上げ費用もかかるため、かえって経費がかかります。

こんなに負担が、…

【有料化の概要】

(実施) H24年6月から

(料金)

一時利用の場合

自転車 100円/12時間
 原付 100円/6時間
 大型バイク 100円/2時間

定期料金

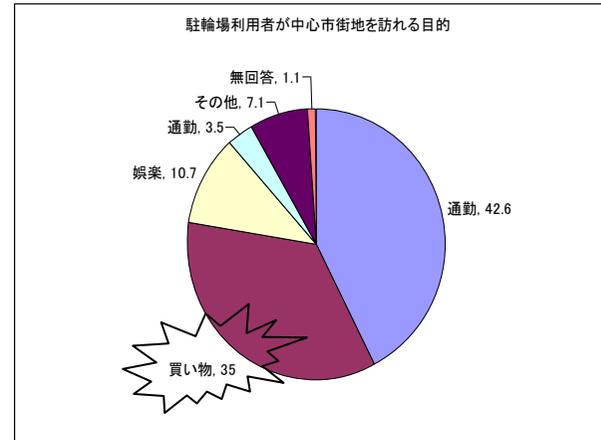
(自転車)一般 1ヶ月2,000円
 3ヶ月5,700円
 学生・障害者 1ヶ月1,000円

3ヶ月2,850円

(バイク)一般も学生・障害者も
 1ヶ月4,000円
 3ヶ月11,400円

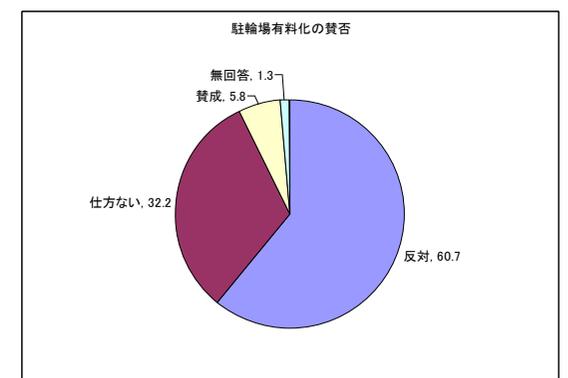
(無料化制度) 入庫から2時間以内の自転車・原付は無料
 (営業) 24時間営業

利用目的の第2位が「買い物」



市営駐輪場利用者の3分の1以上が、中心商店街での「買い物」です。有料化は、街へのお出かけ・買い物に影響するのではないのでしょうか。

利用者の6割以上が有料化反対



市営駐輪場の有料化には、6割以上の利用者が反対です。「仕方なく」の消極的賛成が大半、「賛成」はわずか5.8%です。利用者の声に背を向ける有料化はすべきではありません。

【控室から】 「民意」をどう

上野 みえこ

8月28日、県主催による熊本市の政令市移行後の都市計画の線引き(市街化区域・市街化調整区域の区分)に関する公聴会が開かれました。合併した富合・城南・植木の3町の方々から、「合併のときは、歯の浮くようなことを言っと」「住民の声を聞かない」と、辛らつな意見が相次ぎました。

この夏中止になった「花火大会」にも、「みんなが楽しみだったのに何で止めるのか」の意見が多数。

8月末に開かれた「事務事業外部評価(事業仕分け)では、さくらカードや国民健康保険など、医療福祉の大切な制度が効率や採算面だけを重視するような事業評価の対象となりました。評価というならば、なぜ住民が事業の執行に疑問を持っているような「大型コンベンション施設建設」や「産業文化会館の閉鎖」などに意見を聞かないのでしょうか。

「民意」をどう「民意」なのか」と疑問を持つような市政のあり方です。いよいよ9月議会が始まります。お寄せいただいた声を精一杯届けて頑張ります。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
 ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
 熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 767
 2011年9月4日
 電話 328-2656
 FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

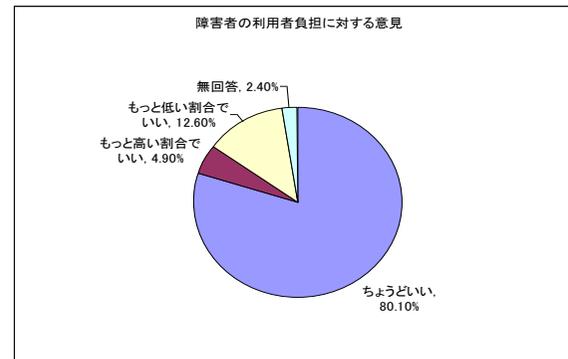
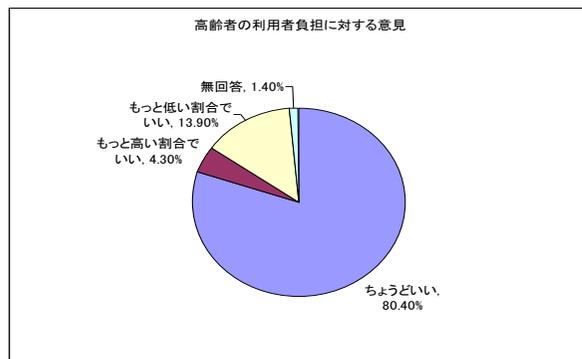
市民に愛され 15 年、「さくらカード」は存続・拡充を！



8月27・28日に熊本市は、さくらカード事業など12事業について「外部評価会議」を開催しました。さくらカード事業は、熊本市の説明でも、高齢者・障害者に高く評価され、社会参加に大いに役立っていることが報告されました。それがなぜ外部評価の対象なのでしょう。熊本市は「将来高齢者人口増」を強調し、所得制限や受益者負担の検討を「外部評価者」に託しました。

事業評価は利用者の声を聞くべき

その答えは、既に出ています。市の利用実態調査では、利用者負担割合について「ちょうどいい」が8割、次に多いのは「もっと低い割合(金額)がいい」が1割強です。「もっと高い割合でいい」は約4%にすぎません。外部評価では、「市の財政負担ばかりでなく、社会参加による中心市街地の活性化など全体的・総合的な評価が必要」などの積極的な発言もあり、8名のうち、2人が「現状維持」でした。しかし、事業評価は、現に利用している高齢者・被爆者・作業所などに通う障害者の声を聞くことではないでしょうか。



さくらカードは「市民の誇り」

障害者は無料化が大勢、800万円で実現できる

熊本市のさくらカードは、プリペイドカード化により有料化されましたが、市民の運動で、障害者は「おでかけパス券」に変更することができました。しかし、名古屋市、鹿児島市とも、手帳1～4級と対象も広く、しかも無料です。熊本市でも、800万円の予算で無料にできます。

また、交付率は38.8%と低迷しており、障害が重く、電車・バスが利用できない本人や家族から、「ガソリン券との選択」の要望もだされています。

他都市の類似事業の状況

都市名	(対象者)	(助成内容)
熊本市	高齢者 ・市内に居住する70歳以上の方 ・被爆者健康手帳所持者	5000円分利用できる「おでかけ乗車券」を1000円で購入。(2割負担)利用するときは「さくらカード」を提示し、「おでかけ乗車券」を使う。
	障害者 ・身体障害者手帳1～3級 ・療育手帳A1、A2、B1 ・精神障害保健福祉手帳1～3級	・5000円分利用できる「おでかけ乗車券」を500円で購入、(1割負担)。利用するときは「さくらカード」を提示し、「おでかけ乗車券」を使う。 ・年間利用できる「おでかけパス券」の場合は提示するだけでよい。
鹿児島市	高齢者 市内に居住する70歳以上の方	3分の1の自己負担で利用できる、敬老パス(ICカード)を交付する。
	障害者 ・身体障害者手帳1～4級(4級は65歳以上のみ) ・療育手帳所持者・精神障害保健福祉手帳所持者	市で運行しているバス、路面電車、桜島フェリーの乗車時に友愛パス(ICカード)をかざすことで無料で利用できる。利用金額に上限なし。
名古屋市	高齢者 市内に居住する65歳以上の方	1年間無料で利用できる敬老パスを交付する。*世帯の所得に応じた負担金(1000円、3000円、5000円)が必要。
	障害者 身体障害者手帳1～4級(介護者用は1～2級、3～4級第1種) 愛護手帳1～4度(介護者用は1～3度) ・精神障害保健福祉手帳1～3級(介護者用は1、2級)	市営交通機関、ガイドウェイバス、西名古屋港線を全線無料乗車できる特別乗車券(福祉バス)を交付。同様の福祉バスを、介護者へも交付。